

令和4年第28回定例公安委員会会議録

開催日時 令和4年10月6日(木)午後0時30分～午後4時25分

開催場所 警察本部各執務室、西部地区運転免許センター聴聞室
倉吉警察署執務室(リモート)

第1 定例会議

1 開催時間 午後1時30分～午後2時45分

2 出席者

公安委員会 久本委員長 衣笠委員 勝部委員

警察本部 雲田警務部長 笠田首席監察官 前田生活安全部長
河本刑事部長 柴田交通部長 加藤警備部長
植木警察学校長 見垣情報通信部長 土井田倉吉警察署長

(事務局等～畔田公安委員会補佐室長、辻室長補佐)

3 議題事項

警察職員の援助要求(警備部)

警察本部

警察職員に対する援助の要求が2件あった。

1件目は、山口県公安委員会から、元内閣総理大臣故安倍晋三県民葬儀に伴う特別派遣、2件目は、沖縄県公安委員会から、第37回国民文化祭及び第22回全国障害者芸術・文化祭への天皇皇后両陛下の行幸啓に伴う特別派遣である。

委員

このとおり受諾する。警護要則が見直しになってからの、初めての特別派遣であろうと思う。しっかりと任務を遂行していただくとともに、今回の警護警備で得られたことを鳥取県警察に持ち帰っていただきたい。

委員

しっかりと警備をお願いするとともに、帰県後の健康管理をしっかりと行い、

業務に復帰していただきたい。

委員

緊張感を持って、安全に気を付けながらしっかりと警備を行っていただきたい。

4 報告事項

- 令和4年全国地域安全運動の実施（生活安全部）
- 110番映像通報システムの試行運用（生活安全部）
- 第30回暴力追放鳥取県民大会の開催（刑事部）
- 警察署交通窓口の受付時間一部短縮の試行実施に係る効果検証等（交通部）
- 倉吉警察署の各種取組（活動）状況（倉吉警察署）

(1) 令和4年全国地域安全運動の実施（生活安全部）

警察本部

本年10月11日から同月20日までの間、全国地域安全運動が実施される。

これは、地域安全に資する関係機関、団体及び警察が、地域安全活動を更に強化するとともに、相互の連携を一層緊密にすることにより、地域安全活動の効果を最大限に上げて一層の浸透と定着を図り、安心して暮らせる地域社会の実現を図ることを目的としている。

期間中の全国の運動重点は、「子供と女性の犯罪被害防止」及び「特殊詐欺の被害防止」である。本県独自の地域重点は、「特殊詐欺の被害防止」及び「自転車盗・万引きの被害防止」である。

「特殊詐欺の被害防止」を地域重点とした理由は、本年9月末時点で、特殊詐欺被害認知件数が36件、被害額は6,000万円を超えており、大変厳しい状況にあることから、社会全体で特殊詐欺被害を防止していくためである。

また、「自転車盗・万引き被害防止」を地域重点とした理由は、本年9月末時点で、自転車盗の認知件数が232件、万引きの認知件数が354件であり、窃盗犯に占める割合が高いことなどから、重点的に対策を講じるためである。

主な取組予定は、10月11日、倉吉駅において、高校生ボランティアと連携した自転車の鍵掛け広報を実施する。そのほか、保育園等における不審者対応訓練等、金融機関やコンビニエンスストアにおける特殊詐欺を想定した声掛け訓練、鳥取県薬剤師会と連携した特殊詐欺被害防止広報などを実施していくこととしている。

委員

この運動は、非常に大切な運動だと思うので、10日間、広報啓発活動をしつ

かりお願いする。

運動期間中の主な取組の中に、金融機関、コンビニエンスストアにおける特殊詐欺被害防止に向けた声掛け訓練があるが、金融機関、コンビニエンスストアは特殊詐欺被害防止の最後の砦となるので、しっかりとした連携をお願いする。

委員

運動期間中は、幅広い年齢層が様々な取組をされるので、県民と一体となって、地域安全活動を推進していくことを期待している。

委員

全国地域安全運動は、本当に大切な運動であると感じている。

運動重点の中に、「子供と女性の犯罪被害防止」が挙げられているが、子供たちの命を全力で守らなければいけないと感じるので、この運動をしっかり広めていただきたい。

また、昨日、本県で過去最高の被害額となる特殊詐欺が発生した。県民は、この報道を見て、疑問に感じていることがあると思うので、県警察には可能な限りの情報を提供していただきたい。

鳥取県薬剤師会との連携した取組について、薬局には高齢者が訪問することが多いと思うので、様々な機会を捉えて広報することはとても良いと思う。

(2) 110番映像通報システムの試行運用（生活安全部）

警察本部

本年10月1日から、全国一斉に110番映像通報システムの試行運用を開始した。このシステムは、110番通報を受理した通信指令課員が、通報者に事件事故その他の警察事象に対する初動的な措置に必要な映像等を送信してもらい、警察官が現場臨場する前に現場の情報収集を行うことで、迅速かつ的確な初動警察活動を推進しようとするものである。受信した映像等は、ネットワークシステムでの配信が可能で、警察署等でも視聴ができ、初動警察活動に必要な範囲内で使用することができる。

本運用は、令和5年4月1日を予定しているが、それまでに問題点や改善点などを把握し、より良いシステムとなるように取り組んでいきたい。

また、各警察署に対しては、巡回教養を実施していく。

委員

事故現場等では、通報者は、動揺等により現場の状況を思うように伝えられないことがあると思う。警察が、映像により現場の状況を把握できるようになるので、積極的に活用していただきたい。

本運用まで6か月あるが、試行運用中は、どのように取り組んでいくのか。

警察本部

県民に対し、110番映像通報システムに関する広報を行っていく。

委員

積極的な広報をお願いします。

委員

この110番映像通報システムの活用が、的確な初動対応につながればよいと思う。緊急時に、このシステムが使えるのかが課題であると思う。また、映像配信にかかる通信料が通報者の負担となってしまうのも問題点であると思う。

試行運用の中で、様々な意見が出てくると思うので、鳥取県での運用状況について、また報告をお願いします。

委員

110番映像通報システムが有効利用されることを期待する。

通報者は、通報時に気持ちが動揺している状態だと思ってしまうので、どれだけ冷静に操作ができるのかという心配がある。

全国で試行運用の結果、改善点があれば改善し、本運用では、できるだけシンプルな操作になればよいと思う。

(3) 第30回暴力追放鳥取県民大会の開催（刑事部）

警察本部

本年11月9日午後1時30分から、鳥取県立倉吉未来中心において、第30回暴力追放鳥取県民大会を開催する。

この大会は、暴力団のない安全で住みよい鳥取県の実現のため、県民一人一人による暴力団排除意識の高揚を図ることを目的として、暴力団対策法が施行された平成4年から、東部・中部・西部地区を会場として順々に開催している。主催は、公益財団法人鳥取県暴力追放センター及び県警察である。

大会には、知事、県議会議長等のほか、来賓として、公安委員、倉吉市長、鳥取地方検察庁検事正等に出席していただく。

大会の内容は、暴力追放功労団体等に対する表彰のほか、犯罪コメンテーターやYouTuberとして活躍しておられる元徳島県警察本部捜査第一課警部のリーゼント刑事こと秋山博康氏による記念講演、鳥取県警察音楽隊による演奏を予定している。

なお、今回の大会は、来場できなかった方に暴力団排除活動に関心を持ってもらい、県下の取組状況などを幅広く知っていただけるよう、秋山博康氏の講演を秋山氏のYouTubeチャンネルで映像配信を予定している。

委員

色々と法律が強化される中で、暴力団の存在も変わってきているが、依然として暴力団による抗争事件が継続している。

暴力団追放の対策をお願いするとともに、この大会を県民にしっかり広報していただきたい。

委員

今回の大会では、秋山博康氏の記念公演があるが、この方は経験豊かで、講演の中では色々な話が聞けると思うので、この大会の広報をしっかりお願いする。

また、多くの方に暴力団に関心を持ってもらうとともに、県警察としても暴力団の排除に力を尽くしていただきたい。

委員

このような大会を積み重ねて、県民の暴力団排除意識を高めていき、暴力団が存在しない安全な社会になってほしいと思う。

(4) 警察署交通窓口の受付時間一部短縮の試行実施に係る効果検証等（交通部）

警察本部

県警察では、職員のワークライフバランスを推進するため、県民への影響が少ない範囲で、警察署の交通窓口の受付時間を一部短縮する運用を本年1月4日から試行的に行っている。受付開始時間に変更はないが、受付終了時間は、従前の午後5時15分から午後4時に短縮した。短縮の対象となる業務は、安全運転管理者等選任・解任、自動車運転代行業認定申請等、制限外積載許可、駐車許可、自動車保管場所証明、道路使用許可申請等である。不特定多数の県民が対象となる運転免許証の記載事項変更等の業務については、県民への影響が大きいと判断し、対象外とした。

試行開始後、警察署に対してアンケートを実施したが、試行運用に対して、申請者、職員ともに否定的な意見はなかった。現在の受付時間の定着状況や働き方改革の面から、全ての警察署が本運用への移行を希望している。

本運用は、令和5年1月4日からを予定しており、移行にあたっては、周知期間を十分に設け、県警察ホームページへの掲載、報道提供、関係業界団体に対する通知などにより、県民に対する周知を図っていく。

委員

働き方改革の面からも、良い取組だと思う。1年間の試行期間を設け、県民の反応を確認しながら、丁寧に移行が進められており、大変素晴らしい。

このとおり進めていただきたい。

委員

この施策は、交通窓口の職員の業務負担軽減につながるということで、良い取組であると思うが、県民や関係機関に対してしっかりと周知を図った上で行っていただきたい。

委員

試行運用の結果、申請者等から苦情、反対意見はなく、職員も効率的に業務を進められ、問題がなかったということであるので、本運用に移行していただきたい。本運用移行後、そのことを知らない県民が申請に来るかもしれないので、その際には柔軟に対応していただきたい。

(5) 倉吉警察署の各種取組（活動）状況（倉吉警察署）

倉吉警察署

倉吉警察署から、署員家族の職場見学会の開催結果のほか、青山剛昌ふるさと館と合同の警察広報の実施結果及び職場環境への取組状況について説明がなされた。

委員

職員家族の職場見学会は、家族、特に子供に警察の仕事を理解してもらえる機会であるので、良い取組だと思う。

職場環境への取組情報の報告の中に、衛生講話や講演会の開催があるが、これは定期的に行っているものか。

倉吉警察署

そのとおりである。

委員

このような職場見学会は、なかなかできることではない。職場見学を通じて、社会の安全や警察に対する家族の理解が得られるのではないかと思う。

引き続き、地域の方と連携した取組を行って、県民の安全・安心につなげていただきたい。

委員

家族、地域住民を巻き込んで、各種取組が行われている。

地域の高校生と連携したドライバーに対する交通安全広報は大変良い取組であり、今後も継続していただきたい。

5 その他

秋の全国交通安全運動の結果（交通部）

警察本部

秋の全国交通安全運動期間中、県下における交通事故による負傷者は14人で、死者はなかった。全国では、交通事故発生件数、死者、負傷者は増加しているが、鳥取県を含め11県において死者はなかった。

交通違反検挙件数は減少しているが、これは、指導取締り以外のレッド走行や街頭監視などの見せる活動などによる効果であると考えている。

委員

このような結果になったのは、レッド走行を含め様々な警察活動を行っていただいた成果だと思う。10月11日から全国旅行支援が始まり、人の移動の増加が見込まれることから、引き続き各種取組をお願いする。

委員

各警察署において、取締りのほか、抑止活動も積極的に行っていただいたと思う。

委員

酒気帯び運転による検挙者が多いということなので、撲滅に向けて各種取組を行っていただきたい。

第2 その他の公安委員会活動

1 意見の聴取

運転免許課から、道路交通法に基づく意見の聴取2件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

2 聴聞

運転免許課から、道路交通法に基づく聴聞1件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

3 事前説明

警察職員の援助要求

4 報告事項

- ・ 中国四国管区内公安委員会連絡会議関係
- ・ 特殊詐欺関係

5 決裁

警察職員の援助要求

6 公安委員会委員間の事前検討・協議等

7 公安委員会補佐室からの事務連絡等

公安委員会補佐室から当面の行事予定等について確認と説明があり、了承した。